

## C帯サブ・ワーキング・グループにおける検討状況

### 1 ITU-R 勧告への固体素子型気象レーダーの諸元の追加に関する検討

ITU-R SG5 会合(本年11月開催)において、ITU-R 勧告 M. 1849-1 (気象レーダーの諸元を記載している文書) の改定作業が完了し、C帯固体素子型気象レーダーの諸元が ITU-R の勧告に初めて含まれる予定となっている

### 2 「無線 LAN の DFS における周波数有効利用の技術的条件に関する調査検討」に基づいた対処等の検討

DFS に関する技術的条件をとりまとめるため、気象レーダー関係者と無線 LAN 関係者において、検討を実施しているところである。

現在、無線 LAN 関係者に対し、現状や今後の運用を想定しているパルスパターンを提示し、10月下旬から11月中旬まで、当該パルスパターンに DFS が正常に機能するかの実証試験を実施したところである。

試験については、チップベンダー5社に参加頂いており、自社、またはディーエスピーリサーチ様で実施した。

ディーエスピーリサーチ様より提示頂いた、試験の中間報告が、気レ作参 5-5 である。現在、最終結果のとりまとめを行っている最中であるが、パルスパターン等によっては、DFS が正確に機能しない場合が見受けられるため、「第8回 5GHz 帯無線 LAN 作業班 アドホックグループ(12月5日)」において、試験条件等の見直しに関する意見が一部の無線 LAN 関係者から出された。

そのため、今後は、試験の条件等に関する議論を双方の関係者で実施する予定である。